

22 褥瘡発生率

▶ 項目の解説

褥瘡(床ずれ)は患者の生活に大きな悪影響を与え、入院の長期化にもつながりますが、適切な診療により予防しえるものもあります。褥瘡の治療はしばしば困難であり、発症予防がより重要となります。知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価します。

▶ 定義

一か月あたりの褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡を作った患者数の比率)。

(歯科を含みます)

算式

分子: 新規褥瘡発生患者数

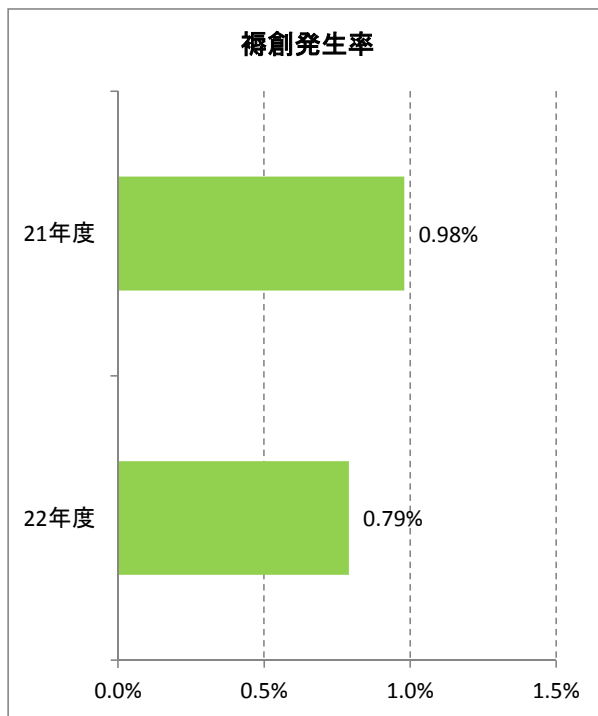
分母: 前月末日の在院患者数 + 当該月新規入院患者数

単位

%

期間

年間



23 入院中の肺塞栓症の発生率

▶ 項目の解説

肺塞栓症は血栓(血のかたまり)が肺動脈に詰まり、呼吸困難や胸痛を引き起こす疾患であり、程度によっては死に至る場合もあります。長期臥床や骨盤部の手術後に発症することが多いです。エコミークラス症候群も肺塞栓症の一種ですが、入院中においては適切な診療により、かなりの部分が予防可能です。

本指標により、肺塞栓予防に対する病院全体の取り組みを評価します。

▶ 定義

入院中の肺塞栓症の発生率です。

算式

分子: 入院中に発症した肺塞栓症の患者数

分母: 全入院患者数

単位

%

期間

年間

